

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000216892 A

(43) Date of publication of application: 04.08.00

(51) Int. Cl      **H04M 3/50**  
**H04Q 7/38**  
**H04M 3/42**

(21) Application number 11015199

(22) Date of filing: 25.01.99

(71) Applicant      NEC ENG LTD

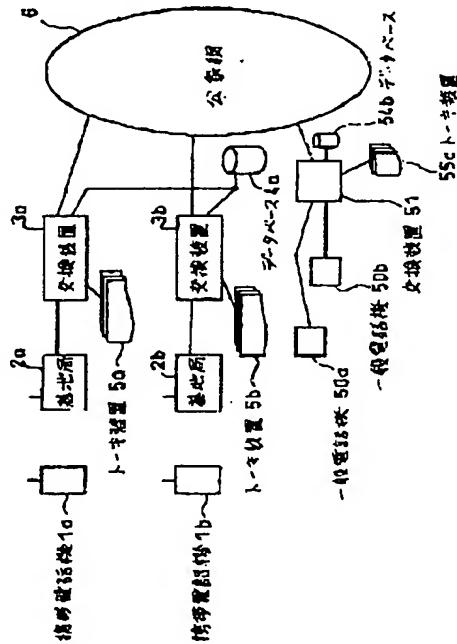
(72) Inventor: KOYAMA MASAMI  
SHIMAMOTO KAZUTOSHI  
TAKIZAWA SEIJI(54) GUIDE SERVICE SWITCHING SYSTEM AND  
SWITCHING METHOD

## (57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To change languages of guide service from a telephone set in call service of a general telephone system, an automobile cellular telephone system and a simple cellular telephone system

**SOLUTION:** When a specified number is dialed from a cellular telephone 1a, the contents of priority language information corresponding to the dialed number in a database 4a are changed by an exchanging device 3a. The priority language information corresponds to a talky device 5a to announce the guide service in the priority language. The languages of the guide service, therefore, can be changed from the cellular telephone 1a.

COPYRIGHT (C)2000,JPO



(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-216892

(P2000-216892A)

(43)公開日 平成12年8月4日(2000.8.4)

(51)Int.Cl'	識別記号	F I	マーク(参考)
H 04 M 3/50		H 04 M 3/50	Z 5 K 0 1 5
H 04 Q 7/38		3/42	Z 5 K 0 2 4
H 04 M 3/92		H 04 B 7/26	1 0 9 H 5 K 0 6 7
		H 04 Q 7/04	D

審査請求 未請求 請求項の数9 OL (全10頁)

(21)出願番号	特願平11-15199	(71)出願人	000232037 日本電気エンジニアリング株式会社 京都府京都市中京区芝浦三丁目18番21号
(22)出願日	平成11年1月25日(1999.1.25)	(72)発明者	小山 雄己 東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気 エンジニアリング株式会社内
		(72)発明者	岬本 和平 東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気 エンジニアリング株式会社内
		(74)代理人	100032985 弁理士 京本 直樹 (外2名)

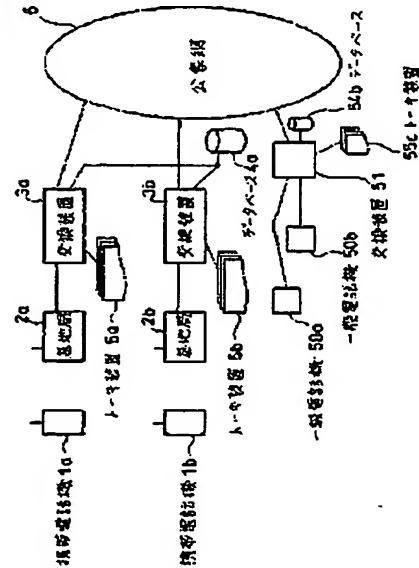
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 家内サービス切替システム及び切替方法

## (57)【要約】

【課題】 一般電話システム、携帯自動直通電話システム及び簡易型携帯電話システムの通話サービスにおいて、電話機から家内サービスの言語を変更する。

【解決手段】 携帯電話1aから特定の音号をダイヤルすると、交換装置3aはデータベース4a内のその音号に対応する優先言語情報100の内容を変更する。優先言語情報100はその言語で家内サービスをアナウンスするトーキー装置5aと対応している。従って、携帯電話1aから家内サービスの言語を変更し得る。



(2)

特開2000-216892

2

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 一方の携帯電話機と他方の携帯電話機又は一般電話機とが公衆網を介して接続される電話システムに用いられ、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信する案内サービスシステムであって、言語情報を格納される格納手段と、各言語毎の前記案内サービス情報を発生させる情報発生手段と、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納された言語情報の内容を参照し、その言語情報に示される言語による前記案内サービス情報を前記情報発生手段より選択する情報選択手段と、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納される言語情報の内容を差替える情報替え手段とを含むことを特徴とする案内サービス切替システム。

【請求項2】 前記所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信しているときに、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報を受信するダイヤル情報受信手段をさらに含むことを特徴とする請求項1記載の案内サービス切替システム。

【請求項3】 前記情報選択手段及び情報替え手段は、前記携帯電話機と前記公衆網間及び前記一般電話機と前記公衆網間に介して接続される交換装置内に設けられることを特徴とする請求項1又は2記載の案内サービス切替システム。

【請求項4】 前記情報発生手段は音声による情報を発生することを特徴とする請求項1～3いずれかに記載の案内サービス切替システム。

【請求項5】 前記情報発生手段は映像による情報を発生することを特徴とする請求項1～4いずれかに記載の案内サービス切替システム。

【請求項6】 一方の携帯電話機と他方の携帯電話機又は一般電話機とが公衆網を介して接続される電話システムに用いられ、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信する案内サービスシステムに用いられる案内サービス切替方法であって、

言語情報を格納される格納手段と、各言語毎の前記案内サービス情報を発生させる情報発生手段とを含み、

前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報をに基づき前記格納手段に格納された言語情報を参照し、その言語情報を示される言語による前記案内サービス情報を前記情報発生手段より選択する第1ステップと、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報をに基づき前記格納手段に格納される言語情報を内容を替える第2ステップとを含むことを特徴とする案内サービス切替方法。

【請求項7】 前記所定の案内サービス情報を前記携帯

10

電話機又は一般電話機に対し送信されているときに、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報を受信する第3ステップをさらに含むことを特徴とする請求項6記載の案内サービス切替方法。

【請求項8】 前記情報発生手段は音声による情報を発生することを特徴とする請求項6又は7記載の案内サービス切替方法。

【請求項9】 前記情報発生手段は映像による情報を発生することを特徴とする請求項6～8いずれかに記載の案内サービス切替方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は案内サービス切替システム及び切替方法に属し、特に一般電話システム、携帯自動直通電話システム、簡易型携帯電話システム（以下、PHS：personal handy phone systemという）の通話サービスにおいて案内情報として定型の音声によるアナウンス又は映像による通知を、一般電話、携帯自動直通電話及びPHS電話（一般電話機、携帯自動車電話機及びPHS電話を総称して以下、携帯電話等という）を利用する顧客の要求（言語、年齢等）に応じて複数切替選択が可能な案内サービス切替システム及び切替方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 電気通信の分野ではアナウンスによる案内メッセージは最も一般的なサービスであり、予め決められた定型のメッセージが音声又は映像で通知される。

【0003】 例えば、携帯電話機から他の携帯電話機へ接続するとして、被呼側の携帯電話機が国外又は電源を切っている場合は発呼者の携帯電話機には「お掛けになつた電話は電波が届かない場所にあるか、電源が入っていないため掛かりません」のような定型のメッセージが音声又は映像により案内サービスされている。

【0004】 しかしながら、国内の国際化が益々進展するに伴い、外団人が電気通信の電話又は携帯電話等を利用するケースが多くなり、日本語の案内サービスでは理解できないということで、国語、知識、年齢等の違いに応じた案内サービスを提供する技術が特開平8-116572号公報に開示されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 外国の人々が日本に来たばかりのときは、日本語が分からぬ場合は母国語、あるいは国際語である英語によるアナウンスが聞ければよいのに、と思うことであろう。その場合は、先行技術1によるサービスを提供することが考えられる。

【0006】 一方、その外団人が中・長期に日本に滞在することになると、日本人との交流も多くなり日本語も多少理解するようになり、母国語や英語でなく日本語でよいと考えるようになることもあるだろう。

【0007】 又、母國の人々や日本人のみならずあらゆる

20

30

40

50

(3)

特開2000-216892

4

3  
国の人々との交流が生れ、一般電話機や携帯電話機等を他人から借りて使用することも考えられる。

【0008】例えば、外国人の中にはよく自宅に友人を招いてパーティーをすることがある。その友人の中には日本人がいる場合もあるし、他の外国人がいる場合もある。

【0009】このようなとき、例えば日本人が携帯電話機等を借りて日本語以外の言葉で案内サービスを聞いたとき、その内容を理解できない人もいる。

【0010】このようなとき、アナウンスの言語を自分が理解できる言語に変更されれば都合がよい。

【0011】一方、発信者が電話機から言語選択操作を行ふことによって、所望の言語でアナウンスサービスを受ける技術が特開平8-289024号公報に開示されている。

【0012】この技術は、ページングシステム内に置かれ、ページングシステム特有のメッセージ、例えば日本語では、「こちらはポケットベル（登録商標）です。プッシュボタンでメッセージを入れて下さい。…」等が発信者に提供され、これを外国語に切替えるには発信者の電話機から「\*01」、「\*02」等をダイヤルする、というものである。

【0013】しかし、このページングシステムにおける技術を一般電話システム、携帯自動車電話システム及び簡易型携帯電話システムの通話サービスにそのまま適用することはできない。

【0014】そこで本発明の目的は、一般電話システム、携帯自動車電話システム及び簡易型携帯電話システムの通話サービスにおいて、電話機から案内サービスの言語を変更することが可能な案内サービス切替システム及び切替方法を提供することにある。

【0015】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するためには本発明は、一方の携帯電話機と他方の携帯電話機又は一般電話機とが公衆網を介して接続される電話システムに用いられ、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信する案内サービスシステムに用いられる案内サービス切替システムであって、その切替システムは言語情報を格納される格納手段と、各言語毎の前記案内サービス情報を発生させる情報発生手段と、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納された言語情報を内容を参照し、その言語情報を示される言語による前記案内サービス情報を前記情報発生手段より選択する情報選択手段と、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納される言語情報を内容を音替える情報音替手段とを含むことを特徴とする。

【0016】又、本発明による他の発明は、一方の携帯電話機と他方の携帯電話機又は一般電話機とが公衆網を

介して接続される電話システムに用いられ、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信する案内サービスシステムに用いられる案内サービス切替方法であって、その切替方法は言語情報を格納される格納手段と、各言語毎の前記案内サービス情報を発生させる情報発生手段とを含み、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納された言語情報を内容を参照し、その言語情報を示される言語による前記案内サービス情報を前記情報発生手段より選択する第1ステップと、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納される言語情報を内容を音替える第2ステップとを含むことを特徴とする。

【0017】本発明及び本発明による他の発明によれば、携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納される言語情報を内容を音替えることができる。これにより、案内サービスの言語を変更することが可能となる。

【0018】

【発明の実施の形態】まず、本発明の概要について説明する。図1は第1の実施の形態の構成図、図2はデータベースの構成図、図3は第1の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

【0019】第1の実施の形態は音頻プログラム電子交換装置3a, 3b, 51(以下、交換装置という)に付帯するデータベース4a, 54りと、案内サービス用の複数のトーキー装置5a, 5b, 55cとからなり、特に案内サービスが実施される前に携帯電話機1a, 1b間又は携帯電話機1a, 1bと一般電話機50a, 50b間の通信信号の送受信を行う基地局2a, 2bと、その基地局2a, 2bから又はその基地局2a, 2bへの通信を行う交換装置3a, 3bとからなり、データベース4a, 54bに優先言語情報100及び言語情報101～103を具備し、又携帯電話機等を使用してデータベース4a, 54bの優先言語情報100のみを音替える手段(図3のステップ204～208とステップ221～223)を交換装置3a, 3b, 51に具備したことを特徴とする。

【0020】図4は第2の実施の形態の構成図である。第2の実施の形態は第1の実施の形態の交換装置3a, 3b, 51に新たに音声応答装置又はレジスタ(以下、音声応答装置という)70a, 70b, 70cを付加したもので、特に案内サービスによりアナウンスが行われているときに携帯電話機1a, 1b, 50a, 50bからのダイヤル情報を音声応答装置70a, 70b, 70cで受信し、その情報を交換装置3a, 3b, 51が検出する手段及び受信したダイヤル番号に対応する1つのトーキー装置を選択し、かつそのトーキー装置に切替える手段を具備したことを特徴とする。

(4)

特開2000-216892

5

【0021】第1の実施の形態によれば、まず携帯電話機1a, 1bを例にして説明すると(一般電話機50a, 50bの場合も動作は同様である)、携帯電話機1a, 1bから発呼すると基地局2a, 2b及び交換装置3a, 3bを介してデータベース4aに接続される。

【0022】携帯電話機1a, 1bから特定のダイヤル番号を交換装置3a, 3bで受信すると交換装置3a, 3bはそのダイヤル番号に対応した優先言語情報100の内容を言替える。

【0023】一方、案内サービスが実施された場合、携帯電話機1a, 1bからの案内サービス要求に対して、交換装置3a, 3bはデータベースの優先言語情報100から予め保守端末等で設定されている言語情報101~103のうちの該当する言語情報1つを選び、又交換装置3a, 3bはその選ばれた言語情報対応の唯一のトーキー装置を選んで接続し、交換装置3a, 3b, 基地局2a, 2bを介して携帯電話機1a, 1bへアナウンスを通知する。

【0024】第2の実施の形態によれば、既に案内サービスが実施されているときに、即ち携帯電話機1a, 1bにアナウンスが流れているときはトーキー装置5a, 5bが交換装置3a, 3b及び基地局2a, 2bを介して携帯電話機1a, 1bに接続されている。

【0025】一方、トーキー装置5a, 5bが接続されていると同時に音声応答装置70a, 70bも携帯電話機1a, 1bに接続されており、交換装置3a, 3bは案内サービス実施中に携帯電話機1a, 1bからのダイヤル番号を受信することが可能となっている。

【0026】携帯電話機1a, 1bからのダイヤル情報は基地局2a, 2b及び交換装置3a, 3bを介して音戸応答装置70a, 70bで検出し、交換装置3a, 3bはその検出情報に従って複数のトーキー装置から唯一のトーキー装置を選び、接続中のトーキー装置から選び出したトーキー装置に切替える。

【0027】以下、本発明の実施の形態の詳細を添付図面を参照しながら説明する。まず第1の実施の形態から説明する。

【0028】図1を参照して、1a及び1bは自動直携帯電話機又はPHS電話機である。2a及び2bは基地局、3a及び3bは交換装置である。5a及び5bは各言語別に複数用意しているトーキー装置である。

【0029】トーキー装置5aは交換装置3aに収容し、トーキー装置5bは交換装置3bに収容する。

【0030】なお、第1及び第2の実施の形態では音声でアナウンスすることを想定し、このためにトーキー装置5a, 5b, 55cを具備しているが、音声に限定されるものではなく映像(例えば音声の代わりに文字)でアナウンスすることも可能である。このためには、トーキー装置5a, 5b, 55cの代わりに映像表示装置を備えればよい。

【0031】4aはデータベースであり、交換装置3a及び3bに共通信号線で接続される。又、50a及び50bは一般電話機であり、これを51の交換装置に取容する。55cのトーキー装置は上記と同じく各種言語別に複数用意する。

【0032】54bのデータベースは携帯電話機1a, 1bとは別のデータベースであるが、本発明に因るデータベースの内容には差異はない。

【0033】次に、データベースの内容について説明する。図2を参照して、電話番号0000000000(一例として10桁で表示する)~9999999999の各々に対応して0000000000情報~9999999999情報がデータベース内に記録されている。

【0034】各々の情報には例えば、名前情報、年齢情報、優先言語情報100、現住所情報、進路電話機情報、サービスクラス情報、位置情報、言語情報101~103が含まれている。

【0035】この中で、本発明に因る優先言語情報100及び言語情報101~103である。優先言語情報100には希望する言語が予め格納されている。言語情報101~103は、例えば101が日本語、102が母国語、103が英語を意味する情報である。

【0036】従って、優先言語情報100に日本語の情報が格納されていれば、交換装置は言語情報101を参照することになる。このデータベースの具体的な使用法については後述する。

【0037】ところで、携帯電話機1aは基地局2aと無線で接続されるが、携帯電話機1aが移動すると基地局2bと無線で接続される場合もある。しかし、ここでは1a~2a~3a~4a~5aの経路を一例として使用するとして、以下交換装置3a内の動作を図3のフローチャートを参照しながら説明する。

【0038】まず、交換装置3aは携帯電話機1aから一般的な接続(ステップ200~203)により、即ち携帯電話機1aからのダイヤル接続により交換装置3aはそのダイヤル番号に対する数字分析を行う。

【0039】具体的には、交換装置3aは携帯電話機1aからの発呼信号を受信すると(ステップ200)、次にレジスタ及びダイヤルトーン接続を行い(ステップ201)、次に第1数字受信をレジスタで受信しダイヤルトーンを切り替し(ステップ202)、次に必要桁数全てを受信しそのダイヤル番号から数字分析を行う(ステップ203)。

【0040】次に、数字分析の結果、優先言語情報変更であると判定すると(ステップ204にてYESの場合)、レジスタにおいて次のダイヤル数字を受信する準備を行う。

【0041】もし、ダイヤル数字を受信しなければ従来の一般的な接続である話中接続を行い、携帯電話機1

(5)

特開2000-216892

7

8

aに切断を促す(フローは省略)。

【0042】次に、ダイヤル数字を必要格分受信すると(ステップ205)、データベース4aに接続し、受信したダイヤル数字からそのダイヤル数字に対応する優先言語情報100の内容を変換する(ステップ206)。

【0043】次に、変換が完了すると、レジスタ及びデータベース4aの接続を開放し、携帯電話機1aにサービスセット完了のための確認信号(例えばセットトン等)を接続する(ステップ207)。

【0044】これにて、データベース変換が完了する。次に、携帯電話機1aの切所により呼を開放する(ステップ208)。

【0045】もし、データベース4aの変換ができない場合、完了の確認信号とは別の確認信号(例えば規制音等)を接続し、携帯電話機1aの切断を促す(フローは省略)。

【0046】一方、ステップ204にて優先言語情報変更がない場合、案内サービスかどうかを調べる(ステップ209)。

【0047】まず、ステップ220で案内サービスであると判定された場合(ステップ220でYesの場合)の動作について説明する。なお、ステップ220で案内サービスでない場合(ステップ220でNoの場合)は本発明と無関係な動作となるため、その説明を省略する。

【0048】案内サービスの実施をするには数字分析以外からの場合もある。例えば、話中音接続中もしくは規制音接続中の場合であり、通常はレジスタが接続されていない場合である。

【0049】従って、レジスタの接続がされているか、又はされていないかの判定を行い、接続されていればレジスタを開放する(ステップ224)。

【0050】次に、データベース4aに接続し、優先言語情報100の内容を読み出し(ステップ221)。その内容が例えばAであれば言語情報101に対応し、内容がBであれば言語情報102に対応し、内容がCであれば言語情報103に該当する。

【0051】又、各言語情報101~103には言語別のトーキー装置番号が対応する情報が書かれている。

【0052】各トーキー装置5a、5b、55cの中にはトーキー装置別に、例えば日本語、母国語、英語等の言葉でアナウンスが入っており、読み出した言語情報から該当するトーキー装置を1つ選び発呼者である携帯電話機1aと接続する(ステップ222)。

【0053】即ち、読み出した言語情報が日本語であれば日本語のトーキー装置、母国語であれば母国語のトーキー装置、英語であれば英語のトーキー装置を選択して携帯電話機1aと接続するのである。

【0054】次に、携帯電話機1aが切断すればその信号を受信し、発呼者及びトーキー装置を開放する(ステ

ップ223)。

【0055】次に、第2の実施の形態について説明する。図4の第2の実施の形態の構成図を参照すると、第1の実施の形態と異なる点は交換装置3a、3b、51に新たに音声応答装置70a、70b、70cを付加した点のみである。他の構成は第1の実施の形態と同様であるため、同様の番号を付し、その説明を省略する。

【0056】図5及び図6は第2の実施の形態の動作を示すフローチャートである。図3のステップ200から16 208までと、ステップ220から222までの動作は第1の実施の形態と同様であるため、これらの部分は図示するに止める。

【0057】従って、図5のステップ300から説明する。交換装置3aはトーキー装置5aの接続(ステップ222)とともに発呼者と音声応答装置70aを接続する際、発呼者側から音声応答装置70a側への追話語のみを接続する(ステップ300)。このとき、トーキー装置5aと音声応答装置70aとは接続しない。

【0058】これにより、トーキー装置5a内のアナウンスを携帯電話機1aに聞かせることができ、又、携帯電話機1aからのダイヤル受信を音声応答装置70aにて受信することができる。

【0059】次に、トーキー装置5aが接続されている間でダイヤル受信待ちでない場合は(ステップ301でNoの場合)、音声応答装置70a及びトーキー装置5aを開放し、発呼者へは規制音を聞かせ(ステップ302)。発呼者の切断を待ち、切断信号を受信するとその呼を開放する(ステップ208)。

【0060】一方、トーキー装置5aが接続されている間でダイヤル受信待ちである場合は(ステップ301でYesの場合)、ダイヤル受信すると受信した番号に対応してトーキー装置を接続し、接続中のトーキー装置を開放し、接続したトーキー装置と発呼者との接続する。このとき、音声応答装置70aと発呼者の接続はそのまま維持する(ステップ303)。

【0061】ダイヤル受信待ちのときに(ステップ304にてYesの場合)、ダイヤル受信があれば何回でもトーキー装置の切替えができる。

【0062】次に、ダイヤル受信待ちがある一定時間以上になると(ステップ304にてNoの場合)、音声応答装置70a及びトーキー装置を開放し、規制音等を発呼者に聞かせるための処理を実行する(ステップ305)。

【0063】次に、発呼者の切断により呼を開放する処理を実行する(ステップ306)。

【0064】以上説明したように、本発明は一般電話機又は携帯電話機等からの操作により、事前に定型の案内サービスの言語情報を切替えておく第1動作(ステップ204~208)と、定型の案内サービスが行われているときに一般電話機又は携帯電話機等からの操作により

(6)

特開2000-216892

9  
他の言語に切替える第2動作（ステップ300、301、303～306）とを有している。

【0065】

【発明の効果】本発明によれば、一方の携帯電話機と他方の携帯電話機又は一般電話機とが公衆網を介して接続される電話システムに用いられ、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信する案内サービスシステムに用いられる案内サービス切替システムであって、その切替システムは言語情報が格納される格納手段と、各言語毎の前記案内サービス情報を発生させる情報発生手段と、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納された言語情報の内容を参照し、その言語情報に示される言語による前記案内サービス情報を前記情報発生手段より選択する情報選択手段と、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納される言語情報の内容を音替える情報音替手段とを含んで構成されるため、電話機から案内サービスの言語を変更することが可能となる。

【0066】又、本発明による他の発明によれば、一方の携帯電話機と他方の携帯電話機又は一般電話機とが公衆網を介して接続される電話システムに用いられ、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき所定の案内サービス情報を前記携帯電話機又は一般電話機に対し送信する案内サービスシステムに用いられる案内サービス切替方法であって、その切替方法は言語情報が格納される格納手段と、各言語毎の前記案内サービス本

10

\*情報発生手段とを含み、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納された言語情報の内容を参照し、その言語情報に示される言語による前記案内サービス情報を前記情報発生手段より選択する第1ステップと、前記携帯電話機又は一般電話機からのダイヤル情報に基づき前記格納手段に格納される言語情報の内容を音替える第2ステップとを含んで構成されるため、電話機から案内サービスの言語を変更することが可能となる。

15 【画面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態の構成図である。

【図2】データベースの構成図である。

【図3】第1の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

【図4】第2の実施の形態の構成図である。

【図5】第2の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

【図6】第2の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

20 【符号の説明】

1a、1b 携帯電話機

2a、2b 基地局

3a、3b、51 交換装置

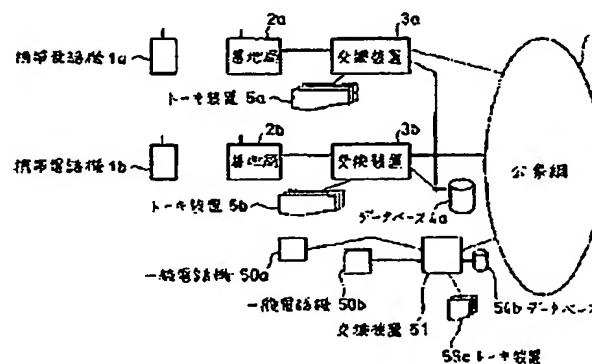
4a、54b データベース

5a、5b、55c トーキー装置

50a、50b 一般電話機

70a、70b、70c 音戸応答装置

【図1】

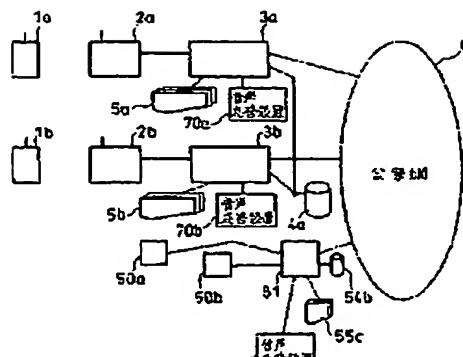


特開2000-216892

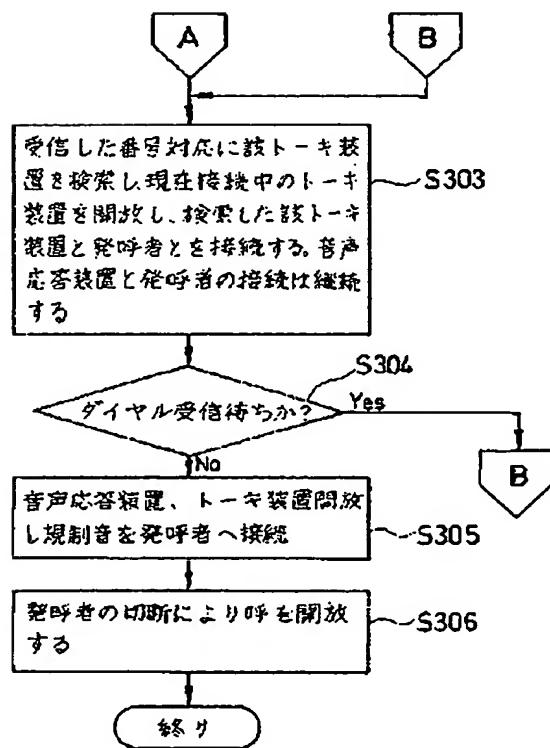
〔圖2〕

番号 0010300000	00000000000014	名前姓
番号 0000000001	0000000001姓	平井義
番号 0000000002	0000000002姓	藤原士
番号 0000000003	0000000003姓	近江加藤
番号 0000000004	0000000004姓	堀木義
番号 0000000005	0000000005姓	サービスマスター
番号 0000000006	0000000006姓	佐藤義
番号 0000000007	0000000007姓	名前姓
番号 0000000008	0000000008姓	名前姓
番号 0000000009	0000000009姓	名前姓

[图4]



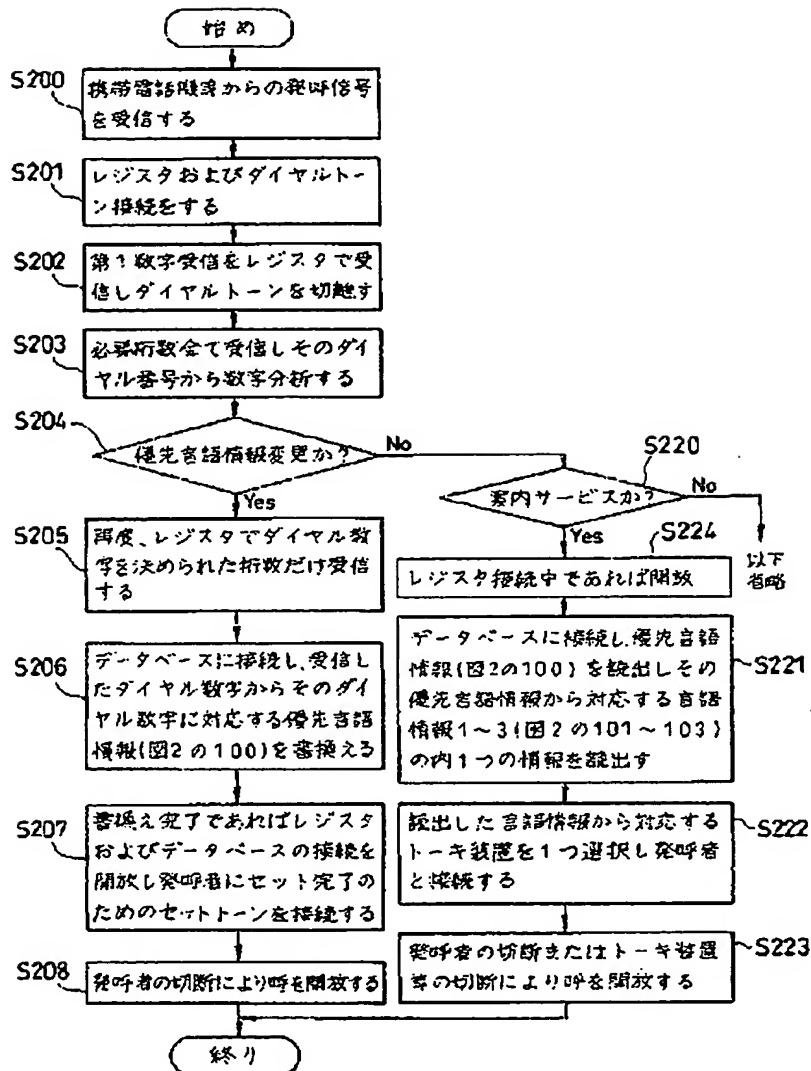
(图6)



(8)

特開2000-216892

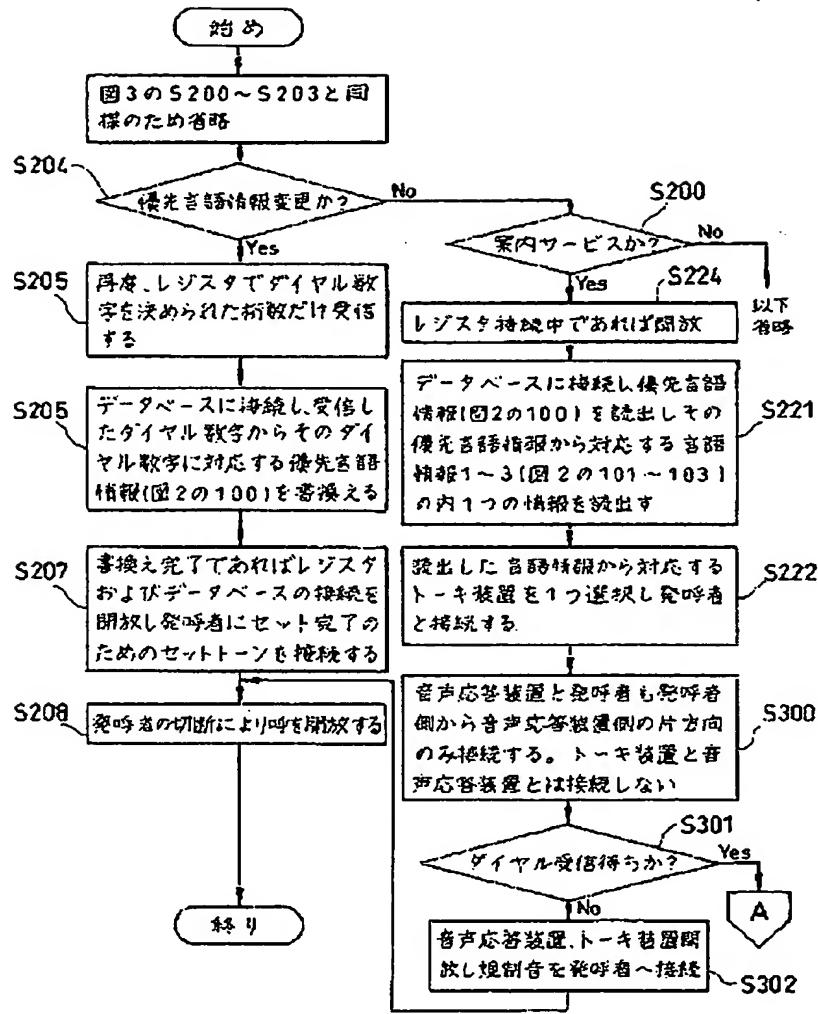
[図3]



(9)

特開2000-216892

【図5】



フロントページの焼き

(72)発明者 錦沢 誠司  
 東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本語気  
 エンジニアリング株式会社内

(10)

特開2000-216892

F ターム(参考) SK015 AA00 AA06 AB00 AD03 AF00  
AF01 AF08 GA00 GA04 GA08  
SK024 AA21 AA41 AA71 AA76 BB02  
BB03 BB04 CC01 CC11 DD01  
EE01 FF04 FF06 GG00 GG03  
GG11 GG13  
SK057 AA34 BB04 DD13 DD51 EE02  
EE10 EE16 FF02 FF23 FF25  
FF31 FF40